

2023年度 第2四半期 京都ものづくり中小企業景況調査 報告書

<概況>

今回の調査では「受注量」「受注見通し」の項目で全体のDI値に大きな変化は無かったものの、受注量について「やや減少・減少」と回答した企業が3期連続で4割を超え、受注見通しについてもDI値が4期連続でマイナスとなるなど、厳しい傾向が見られた。

受注単価については、前回調査時から「上昇」と回答した企業の割合が前回調査時から更に低下した。資金繰り及び採算状況については、前回調査時は改善傾向が見られたが、一転して悪化傾向が見られた。

<項目別の特徴>

- (1)受注量 : 前回調査時からDI値に大きな変化は無かったが、「やや減少・減少」と回答した企業が3期連続で4割を超え、全体的に減少傾向が見られる
- (2)受注見通し : 前回調査時からDI値に大きな変化は無かったが、7業種中6業種でDI値がマイナスの値となり、全体でも4期連続でマイナスの値となったことから、全体的に減少傾向が見られる
- (3)受注単価 : 「上昇」と回答した企業の割合が前回調査時から更に低下し、その分「不変」と回答した企業の割合が増加した
- (4)資金繰り : 全ての業種でDI値がマイナスの値となった。前回調査時には改善の兆しが見られたが、今回は一転して悪化傾向が見られた
- (5)採算状況 : 7業種中6業種でDI値が前回よりも低下した。前回調査時には改善の兆しが見られたが、今回は一転して悪化傾向が見られた
- (6)受注余力 : 「受注余力あり」とする企業が71.2%と、前期と比較して2.4%の増加となった。7割を超えたのは2020年度の第4四半期以来となった
※「受注余力あり」が増加＝マイナス傾向

<分析>

調査対象企業300社のうち20社に対して、訪問等により景況感についてのヒアリングを実施。

府内中小企業の受注動向は、「受注量」「受注見通し」共に全体的に減少傾向が見られた。

また、「受注余力」についても「余力あり」とする企業の割合が7割を超えたのは、コロナ禍府内において2回目の緊急事態宣言が発令された2020年度の第4四半期以来となった。他の全ての項目において悪化傾向が見られたことから厳しい状況が窺える。

調査対象企業にヒアリングを行う中で、「回復の見通しが立たない（半導体製造装置関連）」「中国経済の先行きを懸念（工作機械関連）」「発注者側における在庫調整のため、受注量が増えていない（自動車関連）」との声が聞かれ、各業界において府内中小企業を取り巻く厳しい状況が明らかとなった。

原材料等の高騰に係る価格転嫁については、一部でスムーズな価格転嫁に成功している事例もある一方、調査対象企業からは「他社へ転注される懸念があるため価格交渉ができない」との声も聞かれ、受注単価について「上昇」と回答した企業の割合は2022年度の第2四半期をピークに減少傾向にあることから、立場の弱い中小企業がコスト高騰のしわ寄せを受けている状況が窺える。

不安定な国際情勢や円安、物価高、人手不足等の厳しい状況から、今後も府内中小企業にとって先行き不透明な状況が続くことが懸念される。

(注) 本報告書で使用するDIとはディフュージョン・インデックス (Diffusion Index) の略で、「増加」・「好転」したとする企業の割合から「減少」・「悪化」したとする企業の割合を差し引いた値である。

調査対象期間 2023年7月～9月

(2023年9月末集計)

調査対象企業 300社 回答企業数 256社 (回答率 85.3%)

1. 調査概要

(1) 調査目的

受注登録企業における受注動向等の実態を把握することにより、受発注取引あっせんの円滑化を図る。

(2) 調査対象企業

当財団に登録している受注企業 300社

業種別内訳（産業分類 中分類）

① 鉄鋼・非鉄関係	18社	② 金属製品関係	68社
③ 一般機器関係	85社	④ 電気機器関係	54社
⑤ 輸送用機器関係	18社	⑥ 精密機器関係	21社
⑦ 樹脂製品関係	36社		

(3) 調査時点

2023年9月末日現在

(4) 調査方法

調査票の郵送によるアンケート方式

調査項目（受注量、受注量の見通し、受注単価、資金繰り、採算状況、受注余力）
※一部企業へはヒアリング調査を実施

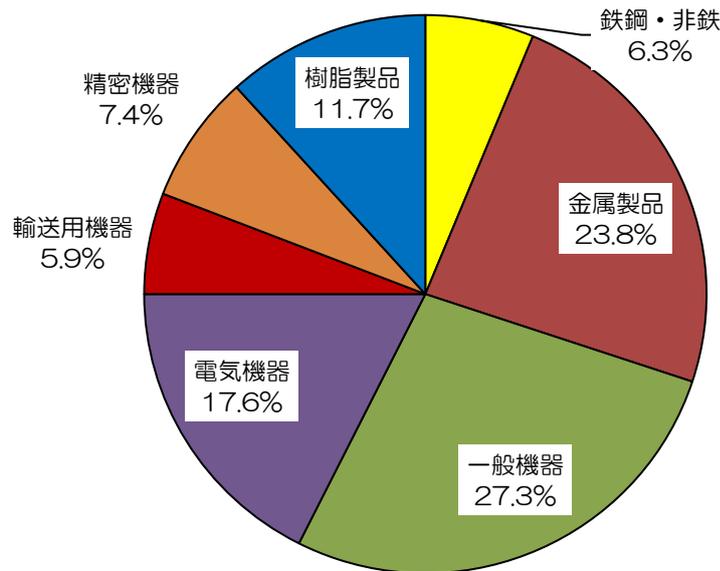
(5) 回答状況

① 調査対象企業数	300社		
② 回答企業	256社		
③ 内訳			
鉄鋼・非鉄関係	16社	(6.3%)	
金属製品関係	61社	(23.8%)	
一般機器関係	70社	(27.3%)	
電気機器関係	45社	(17.6%)	
輸送用機器関係	15社	(5.9%)	
精密機器関係	19社	(7.4%)	
樹脂製品関係	30社	(11.7%)	

④ 回答率 85.3% [前回：85.7%]

2. 回答企業の概要

(1) 業種別回答企業の内訳



(2) 業種別・資本金別回答企業数

(単位：社)

	全 体	鉄鋼・非鉄	金属製品	一般機器	電気機器	輸送用機器	精密機器	樹脂製品
個人	5 2.0%		1 1.6%		1 2.2%			3 10.0%
~300万円	20 7.8%		7 11.5%	2 2.9%	3 6.7%	2 13.3%	2 10.5%	4 13.3%
301~999万円	12 4.7%		3 4.9%	6 8.6%		1 6.7%		2 6.7%
1000~2000万円	137 53.5%	9 56.3%	34 55.7%	41 58.6%	25 55.6%	4 26.7%	11 57.9%	13 43.3%
2001~5000万円	61 23.8%	6 37.5%	15 24.6%	16 22.9%	11 24.4%	3 20.0%	4 21.1%	6 20.0%
5000万円超	21 8.2%	1 6.3%	1 1.6%	5 7.1%	5 11.1%	5 33.3%	2 10.5%	2 6.7%
合 計	256 100%	16 100%	61 100%	70 100%	45 100%	15 100%	19 100%	30 100%

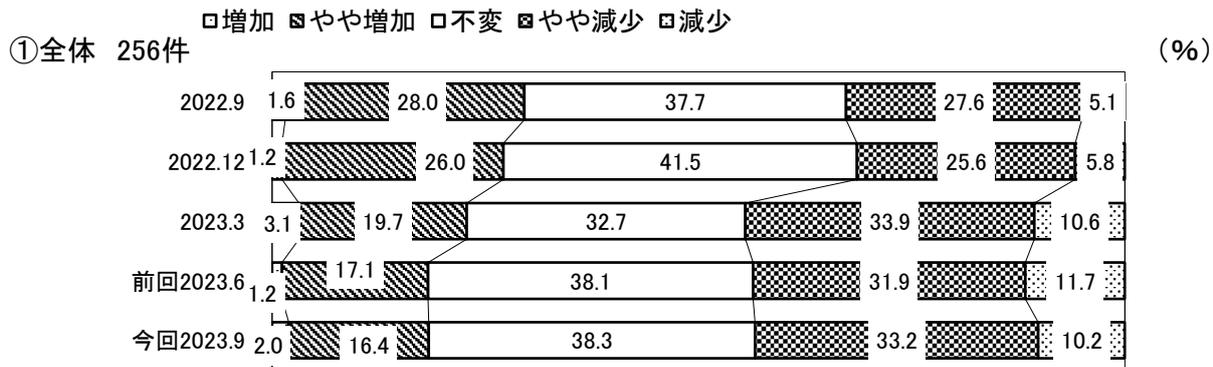
(3) 業種別・従業員別回答企業数

(単位：社)

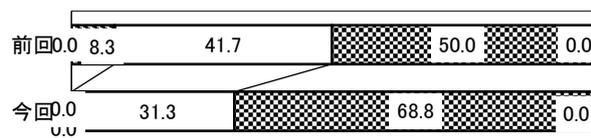
	全 体	鉄鋼・非鉄	金属製品	一般機器	電気機器	輸送用機器	精密機器	樹脂製品
1~5人	19 7.4%	3 18.8%	3 4.9%	7 10.0%	3 6.7%			3 10.0%
6~10人	31 12.1%	1 6.3%	5 8.2%	9 12.9%	4 8.9%	3 20.0%	4 21.1%	5 16.7%
11~20人	65 25.4%	3 18.8%	15 24.6%	22 31.4%	11 24.4%	1 6.7%	5 26.3%	8 26.7%
21~30人	33 12.9%	3 18.8%	13 21.3%	11 15.7%	2 4.4%	1 6.7%	1 5.3%	2 6.7%
31~50人	47 18.4%	5 1.0%	12 19.7%	10 14.3%	10 22.2%	3 20.0%	4 21.1%	3 10.0%
51人以上	61 23.8%	1 6.3%	13 21.3%	11 15.7%	15 33.3%	7 46.7%	5 26.3%	9 30.0%
合 計	256 100%	16 100%	61 100%	70 100%	45 100%	15 100%	19 100%	30 100%

3. 調査結果

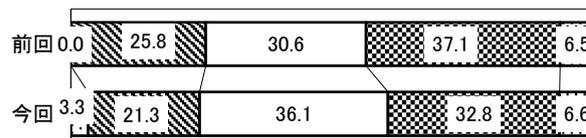
(1) 受注量について



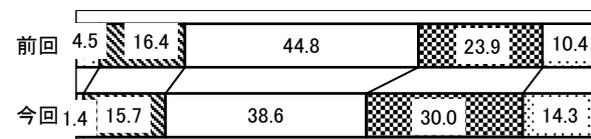
②鉄鋼・非鉄 16件



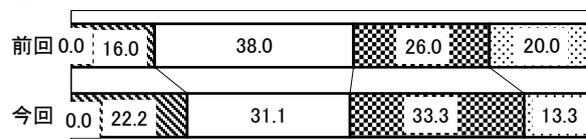
③金属製品 61件



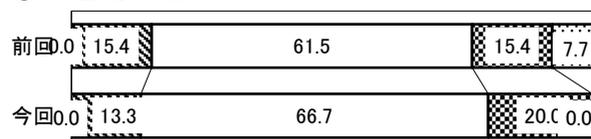
④一般機器 70件



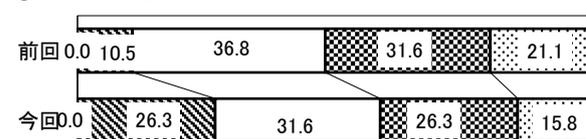
⑤電気機器 45件



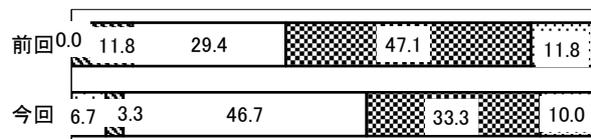
⑥輸送用機器 15件



⑦精密機器 19件



⑧樹脂製品 30件



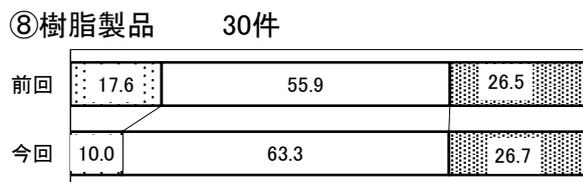
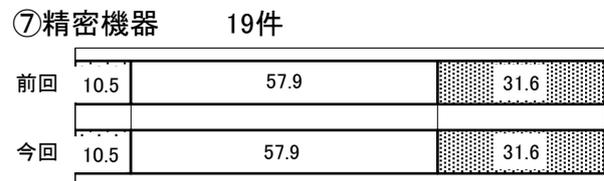
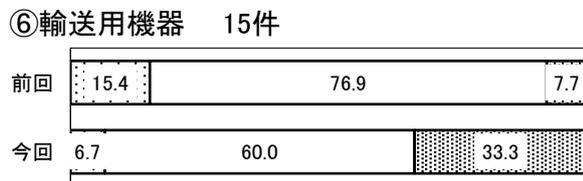
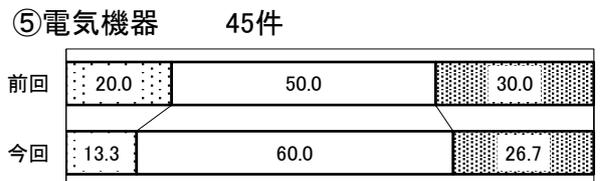
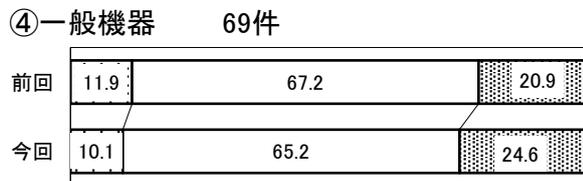
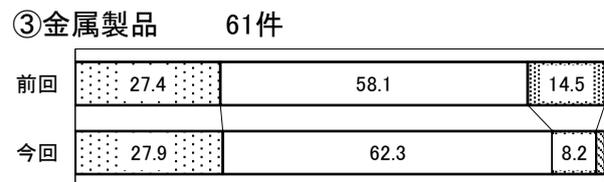
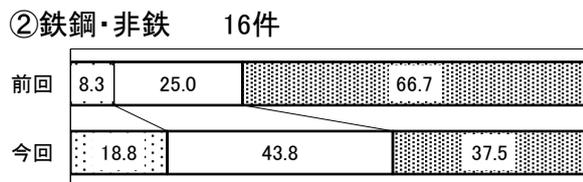
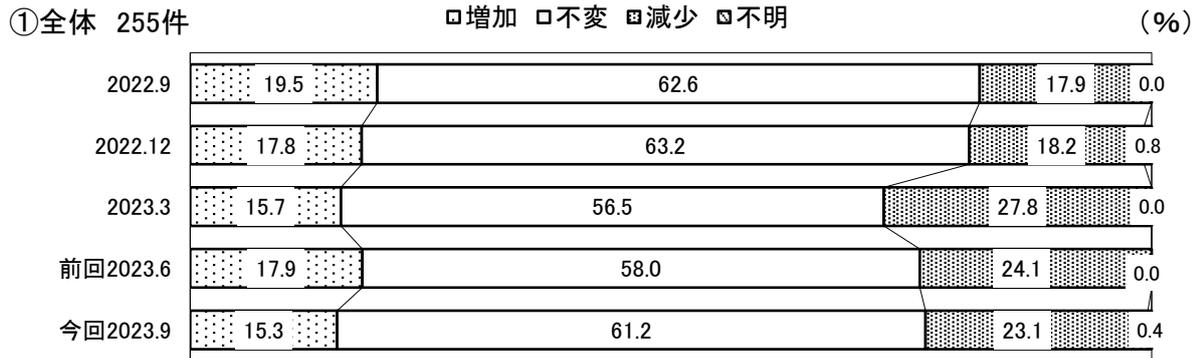
○全体

- 7月～9月期の受注量の業況判断D I（「増加」及び「やや増加」と回答した企業の割合から「減少」及び「やや減少」と回答した企業の割合を差し引いた数値）は▲25.0となり、前期（4月～6月期）のD I値▲25.3と比べ0.3ポイント上昇と、前回調査時から大きな変化は無かった。

○業種別

- D I値は、輸送用機器（▲6.7ポイント）、金属製品（▲14.8）、精密機器（▲15.8）、電気機器（▲24.4）、一般機器（▲27.2）、樹脂製品（▲33.3）、鉄鋼・非鉄（▲68.8）の7業種全てでマイナスとなった。
- D I値を前回と比較すると、精密機器（26.4ポイント）、樹脂製品（13.8ポイント）、電気機器（5.6ポイント）、金属製品（3.0ポイント）、輸送用機器（1.0ポイント）の5業種で上昇。一般機器（▲13.8ポイント）、鉄鋼・非鉄（▲27.1ポイント）の2業種で低下している。

(2) 受注量の見通しについて (3ヶ月先について調査)



○全体

- 次期 (10月~12月期) の受注量見通しの業況判断D I (「増加」と回答した企業の割合から「減少」と回答した企業の割合を差し引いた数値) は▲7.8となり、前期 (7月~9月期) 調査時のD I 値▲6.2と比べ1.6ポイント低下と、前回調査時から大きな変化は無かった。

○業種別

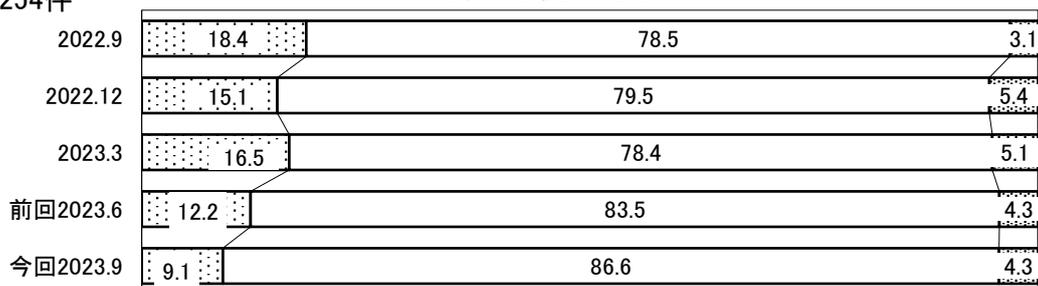
- D I 値は、金属製品 (19.7) の1業種でプラスとなり、電気機器 (▲13.4)、一般機器 (▲14.5)、樹脂製品 (▲16.7)、鉄鋼・非鉄 (▲18.7)、精密機器 (▲21.1)、輸送用機器 (▲26.6) の6業種でマイナスとなった。
- D I 値を前回と比較すると、鉄鋼・非鉄 (39.7ポイント)、金属製品 (6.8ポイント) の2業種で上昇。電気機器 (▲3.4ポイント)、一般機器 (▲5.5ポイント)、樹脂製品 (▲7.8ポイント)、輸送用機器 (▲34.3ポイント) の4業種で低下、精密機器の1業種のみ±0となった。

(3) 受注単価について

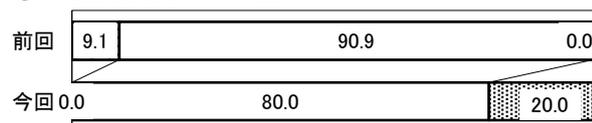
(%)

①全体 254件

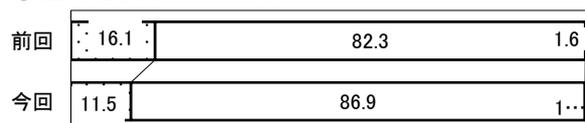
□上昇 □不変 ■低下



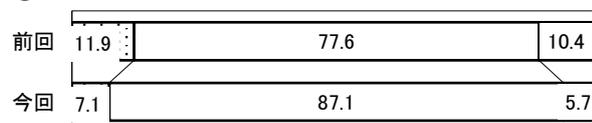
②鉄鋼・非鉄 15件



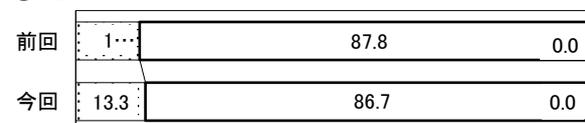
③金属製品 61件



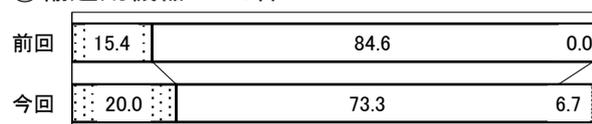
④一般機器 70件



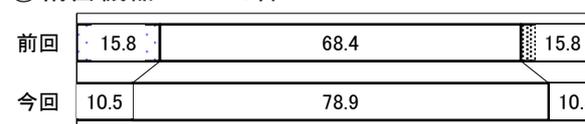
⑤電気機器 45件



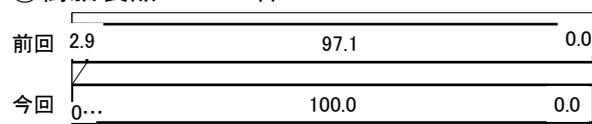
⑥輸送用機器 15件



⑦精密機器 19件



⑧樹脂製品 29件



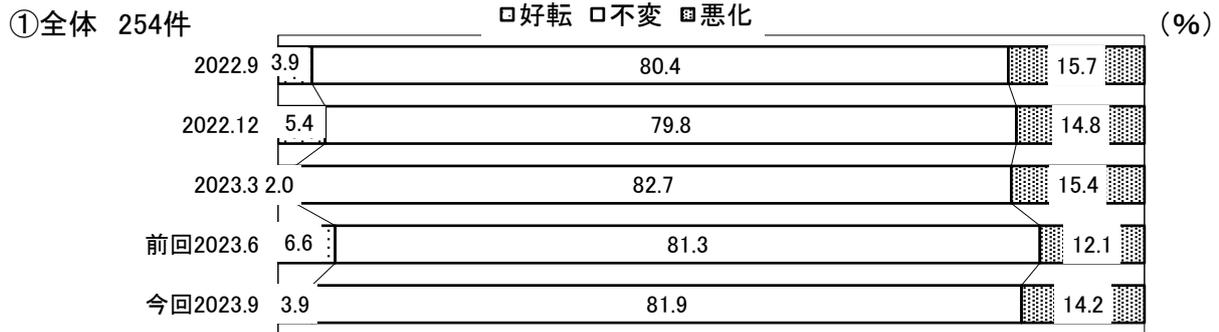
○全体

- 7月～9月期の受注単価の業況判断DI（「上昇」と回答した企業の割合から「低下」と回答した企業の割合を差し引いた数値）は4.8となり、前期（4月～6月期）のDI値7.9と比べて3.1ポイント低下と、前回調査時から「上昇」と回答した企業の割合が更に低下した。

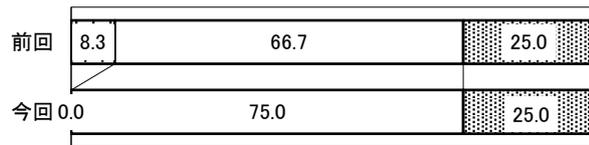
○業種別

- DI値は、電気機器（13.3）、輸送用機器（13.3）、金属製品（9.9）、一般機器（1.4）の4業種でプラスとなり、鉄鋼・非鉄（▲20.0）の1業種でマイナス、精密機器、樹脂製品の2業種で±0となった。
- DI値を前回と比較すると、電気機器（1.1ポイント）の1業種で上昇。一般機器（▲0.1ポイント）、輸送用機器（▲2.1ポイント）、樹脂製品（▲2.9ポイント）、金属製品（▲4.6ポイント）、鉄鋼・非鉄（▲29.1ポイント）の5業種で低下となり、精密機器の1業種のみ±0となった。

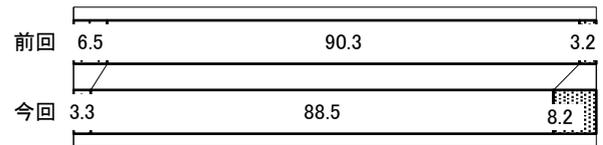
(4) 資金繰りについて



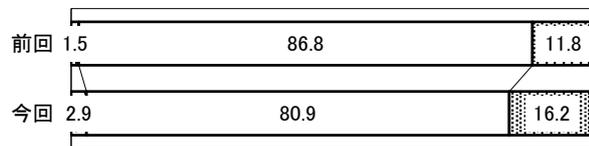
②鉄鋼・非鉄 16件



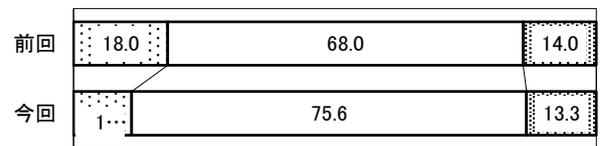
③金属製品 61件



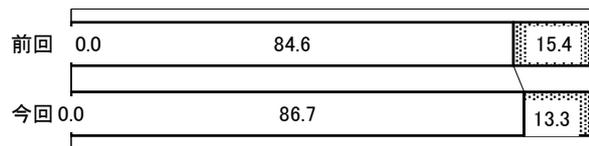
④一般機器 68件



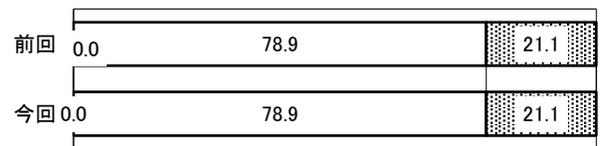
⑤電気機器 45件



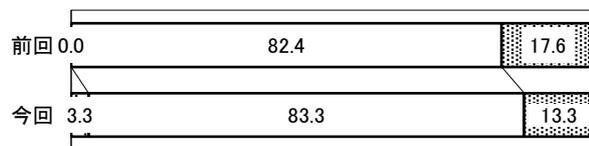
⑥輸送用機器 15件



⑦精密機器 19件



⑧樹脂製品 30件



○全体

- 7月～9月期の資金繰りの業況判断D I（「好転」と回答した企業の割合から「悪化」と回答した企業の割合を差し引いた数値）は▲10.3となり、前期（4月～6月期）のD I値▲5.5と比べて4.8ポイント減少と、前回調査時から一転して「悪化」と回答した企業の割合が上昇した。

○業種別

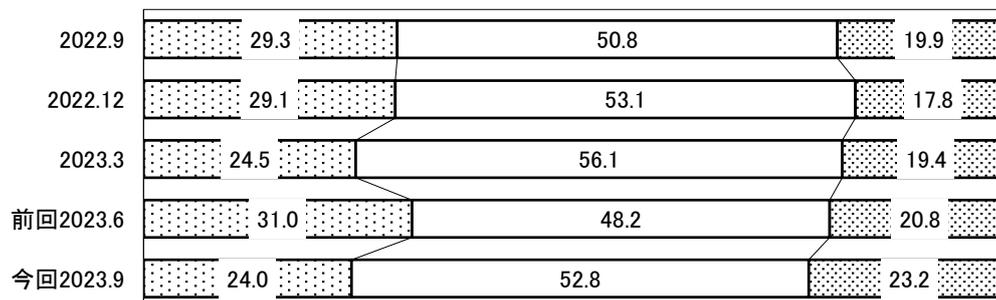
- D I値は、電気機器（▲2.2）、金属製品（▲4.9）、樹脂製品（▲10.0）、一般機器（▲13.3）、輸送用機器（▲13.3）、精密機器（▲21.1）、鉄鋼・非鉄（▲25.0）の7業種全てでマイナスとなった。
- D I値を前回と比較すると、樹脂製品（7.6ポイント）、輸送用機器（2.1ポイント）の2業種でプラスとなり、一般機器（▲3.0ポイント）、電気機器（▲6.2ポイント）、金属製品（▲8.2ポイント）、鉄鋼・非鉄（▲8.3ポイント）の4業種で低下、精密機器の1業種のみ±0となった。

(5) 採算状況について

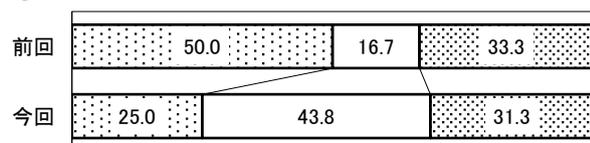
①全体 254件

□黒字 □収支トントン □赤字

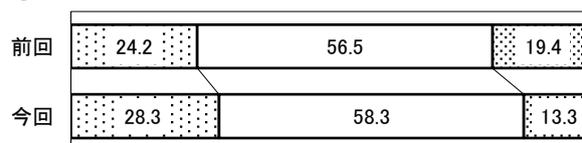
(%)



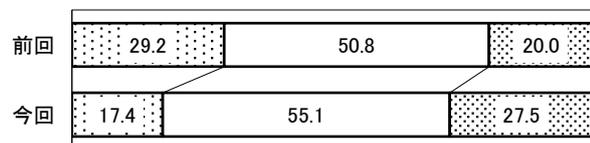
②鉄鋼・非鉄 16件



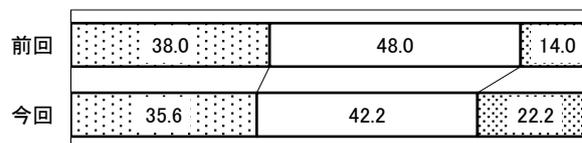
③金属製品 60件



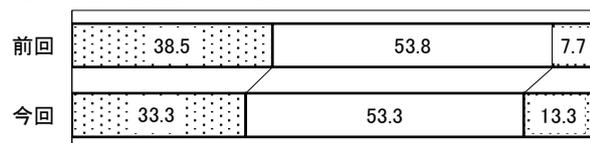
④一般機器 69件



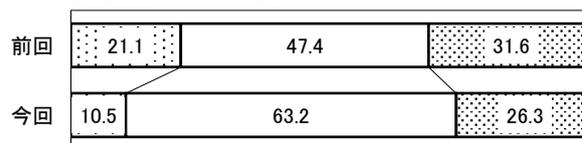
⑤電気機器 45件



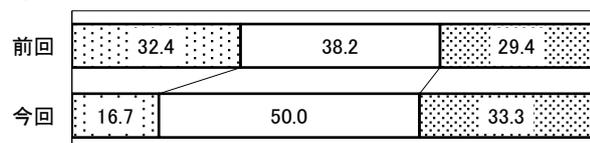
⑥輸送用機器 15件



⑦精密機器 19件



⑧樹脂製品 30件



○全体

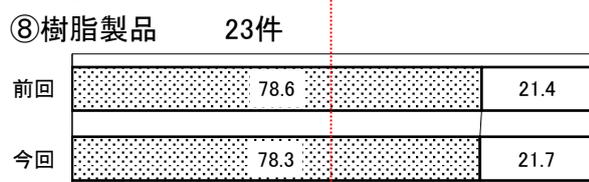
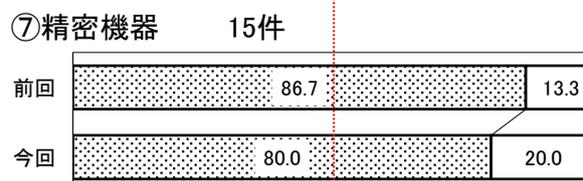
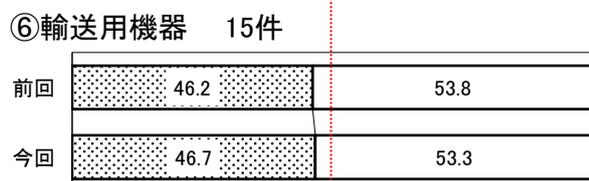
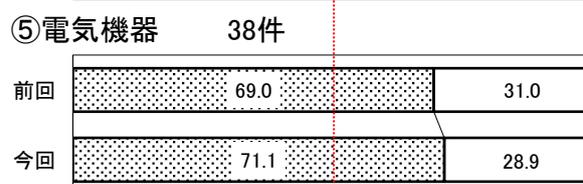
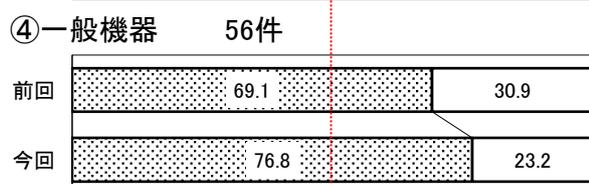
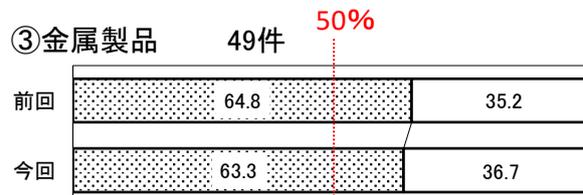
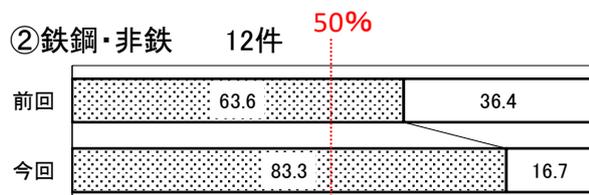
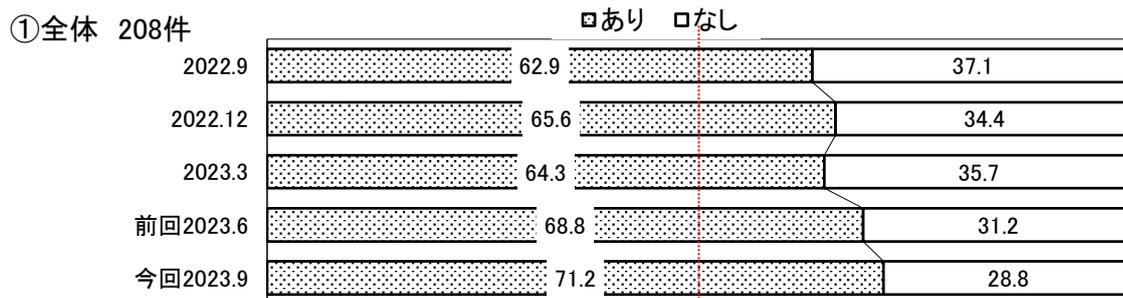
- 7月～9月期の採算状況の業況判断D I（「黒字」と回答した企業の割合から「赤字」と回答した企業の割合を差し引いた数値）は0.8となり、前期（4月～6月期）のD I値10.2と比べ9.4ポイント減少、前回調査時から一転して悪化傾向が見られた。

○業種別

- D I値は、輸送用機器（20.0）、金属製品（15.0）、電気機器（13.4）の3業種でプラスとなり、鉄鋼・非鉄（▲6.3）、一般機器（▲10.1）、精密機器（▲15.8ポイント）、樹脂製品（▲16.6ポイント）の4業種でマイナスとなった。
- D I値を前回と比較すると、金属製品（10.2ポイント）の1業種で上昇。精密機器（▲5.3ポイント）、電気機器（▲10.6ポイント）、輸送用機器（▲10.8ポイント）、一般機器（▲19.3ポイント）、樹脂製品（▲19.6ポイント）、鉄鋼・非鉄（▲23.0ポイント）の6業種で低下となった。

(6) 受注余力について

(%)



○全体

- 7月～9月期の受注余力の業況判断D I（「受注余力あり」と回答した企業の割合から「受注余力なし」と回答した企業の割合を差し引いた数値）は42.4となり、前期（4月～6月期）のD I値37.6と比べ4.8ポイント増加した。
- 7月～9月期は「受注余力あり」とする企業が71.2%と、前期と比較して2.4%の増加となった。（「受注余力あり」の割合が増加した＝マイナス傾向）

○業種別

- D I値は、鉄鋼・非鉄（66.6）、精密機器（60.0）、樹脂製品（56.6）、一般機器（53.6）、電気機器（42.2）、金属製品（26.6）の6業種でプラスとなり、輸送用機器（▲6.6）の1業種でマイナスとなった。
- D I値を前回と比較すると、鉄鋼・非鉄（39.4ポイント）、一般機器（15.4ポイント）、電気機器（4.2ポイント）、輸送用機器（1.0ポイント）の4業種で上昇となり「受注余力あり」と回答した企業の割合が増加。樹脂製品（▲0.6ポイント）、金属製品（▲3.0ポイント）、精密機器（▲13.4ポイント）の3業種で低下となり、「受注余力あり」と回答した企業の割合が増加した。



公益財団法人 **京都産業21**

〒600-8813 京都市下京区中堂寺南町134
(京都府産業支援センター内)

TEL (075) 315-8590 FAX (075) 323-5211

E-mail: market@ki21.jp

U R L : http://www.ki21.jp